

- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

屋久島は私たちが守る

岳南中学校 二年 日高 梨穂奈

私は毎年一回以上行く場所があります。そこは、大川の滝です。大川の滝は、落差約八十メートルあり日本の滝百選に記載されています。

今年の夏休みに福岡からいところその旦那さんが屋久島に遊びに来ました。そこで私たちが、大川の滝に行きました。車を降りると滝はまだ見えませんが、ザー、と力強い滝の音がきこえました。滝が見えるところに行くまでに、草木が生い茂ってトンネルのように、この道がすくすくあります。そこを通過するときは、とても心が穏やかになります。一分くらい歩くと目の前に、空にとどろきそうなほど巨大な大川の滝が現れました。一瞬で心を鷲掴みさせました。いとこたちはもちろん、何十回も来たことのある私も、

中学校

心の声が漏れてしまいうほど圧倒されました。

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかいに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおきない、むだなことばをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は一行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字さけて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字さけて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

（ ） 月 日 曜日

いとこと旦那さんは足を止めることなく岩を
 よい登りていきました。二人とも両手を広げ、
 水しぶきにうたれ、とても気持ちよさそうに
 した。

私はそんな二人を見て、屋久島、大川の滝
 のすばらしさを改めて感じることになりました。
 た。初めて見る人もそうなり人もこんな
 感動させることかできる最強の滝だと思
 ました。

ですが、そんな大川の滝にも危険があると
 中学校

私は思います。それはゴミ問題です。今の屋
 久島の海岸には、他の集落や県外、国外から
 流されてきたゴミがたくさん流れていま
 す。大川の滝と何の関係もありません。か
 大川の滝も川から海へとつながり、いま
 そのためにゴミが大川の滝の方へ流れてしま
 う可能性があると考えられます。世界自然遺産
 や日本の滝百選に記載されている場所にゴミ
 があたらどう思われますか。私はか
 なしくなります。そのようなくを防ぐため

No. _____

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れます。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れます。
- 7、漢字やかなづかに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読み直し、まちがいをなおして、たりないことをおぎない、むだなことをけずりましょう。



- 1、題目は、一行めの三ばんめか四ばんめのマスから書きましょう。
- 2、学校・学年・組・氏名は二行めに書きましょう。
- 3、文章は三行めから一字空けて書きはじめましょう。
- 4、文章の構想をしっかりと立ててから書きはじめましょう。各段落のはじめはかならず一字空けて書きはじめ、一つの段落が終わったら行を変えましょう。

(月 日 曜日)

に私は行っていることがあります。それは、
 海岸清さうです。ですが毎年行っても、ゴミ
 は減りません。私はこの作文を読んださ
 らけなさんに伝えたいことがあります。それ
 はポイ捨てなどを絶対にしないです。ほしいとい
 うことですが、気がないうちに自分が、屋久
 島や他の場所をよびしてしまっているかもし
 れないということを頭のすじにでも置いてい
 てもらいましょう。

屋久島はなかなか小さな島ですが、とても
 中学校

大きいです。素晴らしい自然やエネルギーが、ま
 ちいます。私は屋久島をもっと世界中の人に
 知ってもらいたい、実際に来てほしいと感じる
 ことの出来ない気持ちなどを味わってほしい
 です。そのためには、まずは自分から意識して
 行動していきたいです。

(不許複製)

- 5、読みやすいように、と。とをしつかりつけましょう。と。とは、それぞれ一字にかぞえて、マスのなかの右上のほうにつけましょう。
- 6、人が話したところは、「」のなかに入れましょう。「」は、それぞれ一字にかぞえてマスのなかに入れましょう。
- 7、漢字やかなづかに気をつけ、特に「は」と「わ」、「へ」と「え」、「お」と「を」をしつかり使いわけましょう。
- 8、書きおわったら、何回も読みなおし、まちがいをなおして、たりないことばをおぎない、むだなことばをけずりましょう。

